

「博物館文化拠点機能強化プラン」ロジックモデル

現状

- ・我が国には、文化財をはじめ、有形・無形の貴重かつ魅力のある文化資源が多く存在。
- ・文化体験などの「コト消費」個人旅行の増加等旅行形態の多様化。
- ・博物館等の文化資源は観光振興に極めて大きな役割を果たす。
- ・各国の博物館も多数の観光客を集めており、我が国の博物館も高いポテンシャルを有している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、来訪者数の減少とともに、博物館における国際交流も影響を受け、学芸員の交流や国際交流展の開催に支障が生じている。

課題

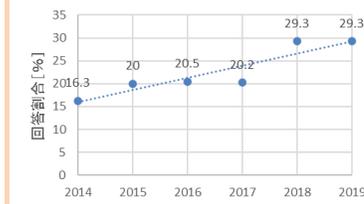
- ・魅力的な文化資源が存在していても、その価値を分かりやすく解説・紹介する取組や、戦略的な発信ができておらず、文化資源の保存・活用が進まない。
- ・博物館における文化理解のための設備をはじめ、多くの訪日外国人旅行者を受け入れに当たり、更なる受入環境の整備が必要である。
- ・ウィズコロナ・ポストコロナにおける持続的な国際交流モデルを構築するため、海外館と連携し、海外における博物館と日本文化のプレゼンスを高める必要がある。

本事業の目的

- ・文化観光推進法(令和2年4月17日公布、5月1日施行)に基づき、主務大臣(文部科学大臣、国土交通大臣)が拠点計画・地域計画を認定し、これらの計画に基づく事業に対して支援することにより、文化観光の総合的かつ一体的な推進を通じて、文化振興・観光振興・地域活性化の好循環の創出を図る。
- ・海外博物館等との連携の中で双方の学芸員等による共同調査・研究やデジタルアーカイブやレプリカ等のコンテンツを活用した事業を展開し、事業の効果検証を通じて、持続的な国際交流モデルの構築を図る。

(現状・課題を示すデータ)

外国人旅行者が滞在中に経験したこと
「美術館・博物館」と回答した割合



博物館のポテンシャル

海外ミュージアム	年間入場者数
ルーブル美術館	960万人
中国国家博物館	739万人
バチカン美術館	688万人
メトロポリタン美術館	677万人

(出典 米エイコム社「テーマパーク・博物館インデックス2019」)

(出典 観光庁「訪日外国人の消費動向」)

※2020年及び2021年は調査中止

インプット (資源)

【文化観光推進事業】
R4年度
予算額
総額
2,070百万円
対象予定件数
45件程度

【博物館等の国際交流の促進】
R4年度
予算額
総額
52百万円
対象予定件数
3件程度

(関連施策)
文化観光推進法

アクティビティ(活動内容)

【文化観光推進事業】
①文化拠点としての機能強化に資する事業に対する支援

②地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進に資する事業に対する支援

③拠点計画・地域計画の策定・推進のための支援

【博物館等の国際交流の促進】
①学芸員等の共同調査・研究

②デジタルアーカイブ・レプリカ等のコンテンツ製作

③学芸員等へのリモート教育等の実施

④事業成果等をシンポジウム等で発信

アウトプット(活動目標)

①文化資源の魅力増進・地域の文化資源の調査研究・資料・コレクションのデータベース化・鑑賞しやすい展示改修・専門人材確保

②理解を深めるのに資する取組・展示品のわかりやすい解説紹介・多言語アプリ、オーディオガイド・VR・AR等の体験型コンテンツの制作・ガイドツアー事業の実施・専門人材確保

③利便の増進・地域内の周遊バス借上・キャッシュレス、Wi-Fi整備・バリアフリー整備(スロープ等)・館内案内の多言語化

④物品の販売提供、他施設との連携

⑤国内外への宣伝

⑥好事例の収集・分析

⑦専門家の派遣

①国内及び海外の学芸員等の相互派遣、共同調査・研究等を実施

②新たな鑑賞・活用モデルを構築し、他の博物館等へ展開が可能

③海外の博物館等と協働してオンラインで展示会、セミナーやリモート教育等を実施

④事業の成果をシンポジウム等での報告により横展開

初期アウトカム (成果目標)

・各拠点計画・地域計画で設定した「来訪者の満足度」の向上
※併せて、双方向でのコミュニケーションがとれる形での意見集約等も行うことで、コンテンツの改善を促進

KPI ③

・来訪者の文化資源への理解と地域住民の支援意識の向上

・利便性の向上により、計画地域での滞在や、周辺地域への回遊を促進

※地域への波及効果を測る指標の設定を促進

・海外館との交流により博物館資料と博物館活動における新しい価値を創出

KPI ②

中期アウトカム (成果目標)

・充実したコンテンツの作成により、リピーターの増加及びポストコロナにおけるインバウンドの効果等による来訪者の増加

・文化観光拠点施設、文化観光推進事業者、地方公共団体の連携体制の深化

・国内の博物館と海外の博物館との国際交流が拡大

KPI ④

長期アウトカム (成果目標)

・より多くの来訪者が、文化観光拠点・地域において、魅力ある文化について理解を深めること

・文化観光拠点・地域のモデルを創出し、文化について理解を深める機会を拡大

・海外における日本文化のプレゼンスの向上及び文化を通じた国際相互理解の促進

インパクト

博物館等の文化拠点としての機能強化や地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進を通じて「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出

測定指標と目標値

KPI ①

・文化観光推進事業者と連携して補助対象事業を実施する事業者数 (R4年41団体)

KPI ②

・海外との国際交流実施回数(1団体当たり年間15回) (R4年45回)

KPI ③

・「来訪者の満足度」に関する目標の達成度 (R4年80%⇒R6年80%)

KPI ④

・日本博物館協会調査回答館(2,314館)のうち、国際交流実施館の割合(R4年6%⇒R8年12%)